昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告
〔救命救急科（救急医療センター）〕

指標名

救急医療センターにおける救急搬送台数と応需率

目標・ゴール

救急受け入れ件数増加と救急車応需率 100%

目標・ゴール達成による効果

地域基幹病院としての地域に対する貢献

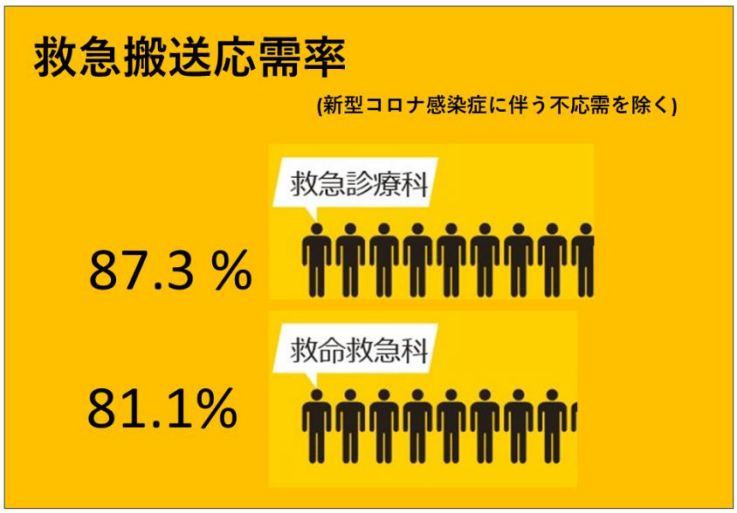
目標・ゴールに対する成果の状況

救急応需数

9,012 台

総数

前年度比率　114%達成



目標・ゴール達成度

☐S　:大幅に目標を上回った
☐A^{+}:目標を多少上回って達成
☐A　:目標を達成
☑B^{+}:目標を少し下回った
☐B　:目標を下回った
☐C　:目標を大幅に下回った
☐ー　:外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

COVID-19 が猛威を振るう中、救急応需率;救命救急科 81.1%,救急診療科 87.3%は東京都の平均応需率は上回っている。また、応需総数としては前年度比 1.14 倍と搬送総数は増加している。前年度同様に全例応需を目指しているものの様々な要因で応需率としては前年度を下回る結果となった。救急診療科では新型コロナ感染症などによる空床がないことが応需率低下に影響している。救命救急科ではベッドコントロールと手術対応が困難であることが応需率低下に影響した。また、両診療科ともに搬送台数増加に伴い応需できる診療ブースの空きがないことなども不応需の一因となった。今後も救急搬送の依頼件数はさらに増加することが予測される。増加する救急依頼に対応可能な体制の整備と問題点の抽出と改善を行っていく。